

(3月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		12,617	100	12,401	86	100	83	-	-	神奈川、千葉産中心の入荷で全体の9割を占める。今年度は後半の作になってようやく価格が上昇。千葉産はゆっくりペースで価格はしっかりしているため前年並と見込まれる。
にんじん		8,086	92	7,767	94	176	128	-	-	千葉、徳島産中心の入荷で7割を占める。主力の千葉産は残量が少なく、埼玉産も大幅に早く切れ上がる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
はくさい		8,677	98	7,741	59	151	79	0	-	茨城、兵庫産中心の入荷で全体の8割を占める。今年は前年より基調高で今後の出回りは少ない見通し。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
ほうれんそう		1,619	103	1,726	403	92	358	2	0.1	群馬、埼玉中心とする関東産が市況をリードする。本年産は、低温干ばつで2月上旬まで高値が続いたが、2月後半から3月は徐々に回復する見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
キャベツ類		16,757	100	15,898	97	98	91	-	-	愛知、神奈川産中心の入荷で全体の約8割を占める。本年産は、2月上中旬に干ばつで高値になったが、その後の降雨で3月については平年を上回る見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
ねぎ		4,435	102	4,642	317	87	255	16	0.4	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の7割を占める。本年は2月中旬に高値になったが、下旬には回復に向かい、3月は前年並の出荷の見通し。全体の入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
レタス類		8,009	95	7,797	207	106	191	-	-	茨城、静岡、香川産中心の入荷で約7割を占める。本年は2月前半は高値となったが、生育の回復とともに下旬には価格は下がった。今後は3月後半に需要期を迎えてやや強めに推移する見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。

(3月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
きゅうり		5,780	102	6,176	392	92	338	-	-	埼玉、千葉、群馬産中心の入荷で約6割を占める。本年は2月中旬まで順調に出たが、下旬は少なめとなった。3月には再び増えてピークを迎える。全体の入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
なす		1,958	101	2,249	414	102	392	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。本年は作付けの減少はあるが平年作に近い。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回る見込み。
トマト		5,487	101	5,648	440	98	422	-	-	福岡などの暖地産に続き愛知、栃木、千葉などの関東産が市況をリードする。本年は各産地とも積極的に加温しており、全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
ピーマン		1,452	102	1,695	732	86	653	-	-	茨城、宮崎、高知産中心で全体の約9割を占める。本年は日照時間が多く、春物は順調。越冬作の回復傾向。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
ばれいしょ		8,464	105	8,845	156	96	126	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産の残量は少なく、出荷ペースはこれまでと変わらない。九州産は2月は入荷量が少なく高値での取引となったが、3月は潤沢な入荷が予想されるため価格は下げ基調。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
たまねぎ		9,818	101	10,671	142	99	110	-	-	北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道産の貯蔵量は平年より大幅に少なく入荷量も少ないが、高値疲れから引き合いは強くない。静岡産の新たまねぎは数量不足から引き合いが強かったが、3月は肥大も回復して入荷量が増えてくる見込みから価格はやや下げ基調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。